

日 時：平成 28 年 2 月 23 日（火）18 時 30 分 ～20 時 00 分

場 所：平田森多目的集会所

対象地区：平田森

参加人数：20 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○町会の基幹排水路の改修工事について</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>町会の基幹排水路の改修工事の予算がついたということだが、具体的にいつから工事するのか。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・農繁期を避けて実施することになると思う。具体的な時期については、調査をし、町会と相談しながら進めていく。・基幹排水路の 600m 区間のうちの農地に隣接する 420m 区間について施工予定である。予算は約 1000 万円である。 <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>工事は年度内で終わる計画なのか。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・年度内終了予定である。
<p>○経済部の来年度予算について</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>経済部の来年度予算の目玉はなにか。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・TPP に関連し、今後、稲作では生計を維持することが難しくなると考えられる。そこで、田んぼから畑に転換する方への補助金を引き上げることである。従来の施設野菜等への転換への補助金は補助率が 30% であったが 50% まで引き上げる。野菜への転換だけでなく、樹園地への転換も含める。・ふるさと納税のうち、平川市の農業を応援するという目的で納税された分を活用したふるさと平川応援事業の中で実施する。

○ふるさと納税について

(市民からの要望・質問)

昨年度の実績はどうなっているのか。

(市の回答)

- ・昨年度は82件で300万円くらいであった。
- ・昨年から見直した。まず、りんごを入れるなど、返礼品を充実させた。その後、ふるさとチョイスというサイトを利用した。
- ・納税額のうち、返礼品は3割、ふるさとチョイスへの手数料13%、送料等を引くと、市に残るのは46%くらいである。それでも、多くの人に納税してもらえれば額が増えるし、物産のPRにもなる。
- ・今年度は1月末で1万2千件を超える申し込みがあり、1億3991万3千円である。現在も1日30件くらいずつの申し込みがある。
- ・来年度も多くの方にふるさと納税をしてもらい、それを活用した事業を進めたいと思う。

○老人福祉について

(市民からの要望・質問)

高齢化が進み、町会でも高齢者が増えている。町会の福祉会では、高齢者の会食や健康相談、ゲーム等を年に数回開催している。費用は社会福祉協議会と町会からの補助で賄っている。市では老人の福祉についてどう考えるか。

(市の回答)

- ・高齢化は確実に進んでいる。市では元気で長生きしている高齢者が増えるような施策をしていきたい。
- ・昨年は健康づくり推進の条例を制定した。また10月には平川市健康づくり宣言市民大会を行った。その健康づくりの理念を基にしながら、健康教育、食生活や運動など生活習慣の見直し等健康づくりを進めていきたい。
- ・来年度も地域の健康づくり活動支援事業を実施する。町会等で健康づくりの事業を行う際、10万円まで補助を出している。ぜひ活用してほしい。
- ・健康づくりポイント事業についても来年度実施予定である。
- ・高齢者だけではなく、若い人も一緒に地域のつながりを強くし、健康づくりできるような場所づくりをする必要がある。健康づくり支援事業を活用してほしい。
- ・介護保険の制度が変わり給付から外れる人も出てくる。介護が必要になりつつある方も元気な人と一緒に健康づくりを進めていければいいと考えている。

○平田森のもりっこについて

(市民からの要望・質問)

平田森のもりっこは平田森の起源ともなっている歴史あるものである。町会では、もり

っこ祭りを行い、もりっこを子どもたちに伝えていっている。菅江真澄の本にも書いているし、歴史的文化的価値のあるものだと思う。以前、教育委員会に『伝説の森平田森』という標木を建てるようお願いした。現場確認にきたが、返事をもっていない。価値を認められないのか、他の理由があるのかはっきりとした答えがほしい。

もりっこは町会の土地にある。所有権についての書類等は教育委員会に提出している。
(市民からの要望・質問)

昔はみどりのもりっこであったが、管理が悪くむき出しになり、土台も弱くなっている。管理ができていないものを名所旧跡には指定できないといわれたこともある。もう一度昔の姿に戻りたいが予算がない。町会だけの財政では難しいので、市として名所旧跡、文化遺産として残してほしい。

(市の回答)

・調べて回答する。

○墓地にある松の木について

(市民からの要望・質問)

墓地に樹齢600年の歴史ある大きな松がある。昔は銘木だといわれていた。現在は、上の方が枯れてきている。枯れた木が折れると危険である。先人が築いた由緒ある松を切ってしまうたくはない。松を剪定して欲しい。

(市の回答)

・それぞれの町会での対応をお願いする。

(市民からの要望・質問)

剪定を自分たちでしたとして、枝の処理に困る。処分場に持っていく予算もない。市の最終処分地を利用させるなど手助けしてもらえないか。

(市の回答)

・市の最終処分地では対応できない。弘前の処分場に持っていくしかないと思うが、他にいい案があるか検討してみる。

(後日検討の結果)

・市民課環境衛生係より、バイオマス発電に持っていくことを町会長に提案。

○歩道について

(市民からの要望・質問)

新屋の牛舎のところから荒田までの歩道がある。柏木農業高校の生徒のために設置したと思われるが、現在はあまり利用されていない。クリーン平田森で草刈をしているが、管

理が大変である。また、一部壊れたりもしているため、歩道を撤去してほしい。

町会内の区間については、町会要望で出している。

(市の回答)

- ・町会で要望が出された区間は現場を確認している。水路が歩道に合わせてあるため、排水の問題もあり、歩道だけをとることは難しい。来年度の予算では対応できないが段階を追って対応する。

○補助金の条件緩和・新設について

(市民からの要望・質問)

町会で所有しているものや財産区で登記している財産について、市の予算で修復するのは無理だといわれた。マイロードマイタウンの事業でもりっこの修理をしようとしたが認められないといわれた。もりっこの修理や松の手入れ等にも使えるよう補助金を見直ししてほしい。緩和できないのであれば新たな補助金を新設してほしい。

(市の回答)

- ・検討してみるが、難しいと思う。
- ・マイロードマイタウン事業の拡大について庁内で検討した。公園の遊具の修復等には使うことはできるようになった。

(市民からの要望・質問)

マイロードマイタウン事業の条件を町会の地番だけでなく、町会の人が使っている他の行政区の農道にも適用できるよう緩和してほしい。

(市の回答)

- ・受益者の気持ちはわかるが、条件を緩和することはできない。他町会との意思疎通を図り、対応してもらいたい。市役所で仲介に入ってもいい。

○介護施設について

(市民からの要望・質問)

介護保険施設の料金が高く、老後を心配している。市で、温泉のあるところに介護施設を作って、80歳を超えたら無料で自動的に入れるようにしてほしい。

(市の回答)

- ・80歳を超えたら自動的に介護施設にはいるようにすることは、市だけで対処できるものでない。施設介護を望む人、在宅介護を望む人それぞれいる。
- ・経費がかかるし、介護保険料も上がるだろう。

○集会場の広場の壊れたアスファルトの撤去について

(市民からの要望・質問)

集会場の広場を除雪するたびに、アスファルトが壊れる。壊れるたびに市で天ぷら舗装するのだが、壊れたアスファルトがそのままになっている。片づけて欲しい。

毎年、同じところが壊れているようなので根本的な見直しが必要なのかもしれない。

(市の回答)

・土木課に伝える。

(後日確認の結果)

・土木課が融雪後現場確認し、撤去する。また、工事事業者に連絡する。

○道路の拡幅について

(市民からの要望・質問)

十文字のところの袋小路になっている方の道路が狭いため、土蔵を壊さずに動かして、道路を広げて欲しい。

(市の回答)

・町会要望にあげて欲しい。

○牧場について

(市民からの要望・質問)

畜産農家が減って、現在は4件である。津根川森牧場を活性化してほしい。

(市の回答)

・現在も牧場の方と話し合いの場を持っている。